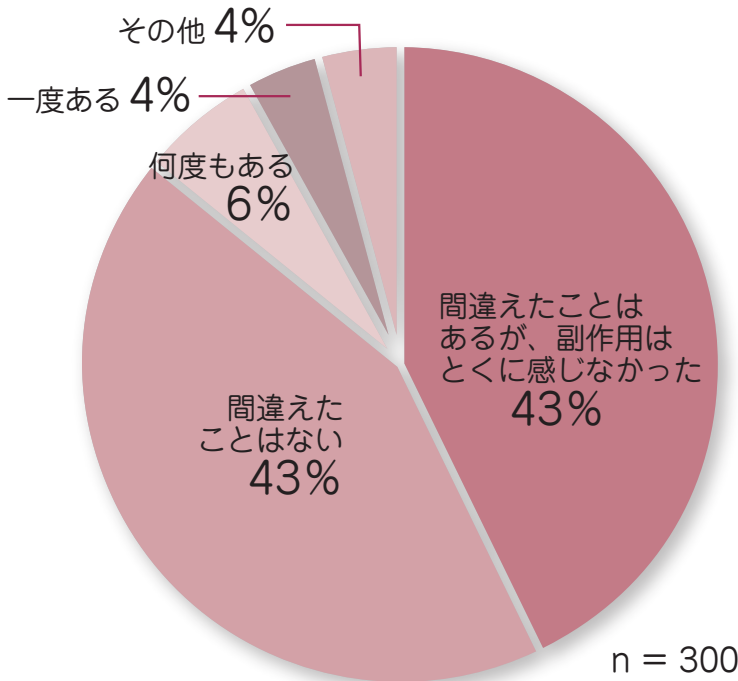


糖尿病患者さんに聞きました

Q. 薬の飲み方を間違えて(飲む時間や量)、副作用を経験したことはありますか？

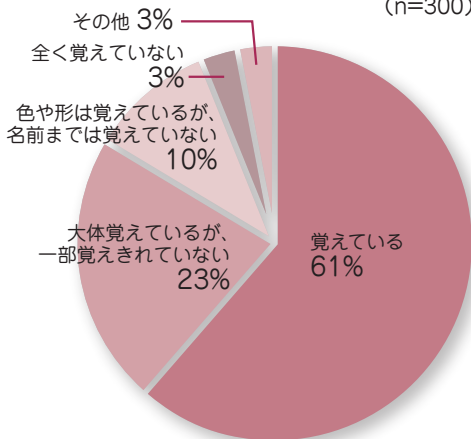


約半数の方が「間違えたことがある」と答え、それによる副作用を感じたことがある方は全体の1割でした。しかし、食事を抜く時や薬を飲めなかった時など、状況に応じた薬の飲み方を「知っている方」は3~4割、「自己流で行っている」方が約3割、「全く知らない」方が2割と、飲み間違いを起こしやすい環境におられる方が多いことが危惧されます。

以前、東日本大震災後に災害時の備えをテーマに行ったアンケートで同様の質問を

Q. 現在、あなたが飲んでいる薬の種類や名前を覚えていますか？

(n=300)



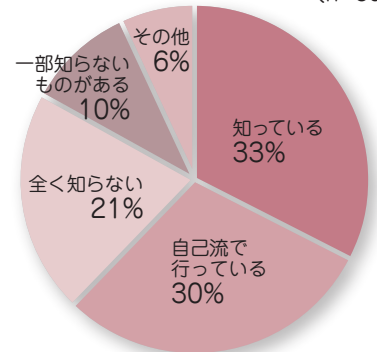
行いましたが、現在飲んでいる薬の種類や名前を覚えているか？を聞いたところ、「覚えている」と回答した方は6割で、残りは「覚えきれていない」、「覚えていない」でした。驚いたことに以前の結果とほぼ同じ数字で、周知啓発があまり進んでいない状況がうかがえました。

そこで医療スタッフ同様、服薬指導の内容を見てみると、効能効果や用法用量についての認知度は比較的高かったものの、状況に応じた対応策については、ほとんど行われていないとの回答。よりきめ細やかな指導はもちろんですが、自分が飲んでいる薬について「詳しく知っておくことは重要である」との患者さん自身の意識改革も必要なのかもしれません。

自由記述では、「病状が悪化した時、きちんと対応できるか不安」、「血糖測定を行っていないので、低血糖になっているのか、薬に効果があるのか全くわからない」、「長年、量も種類も多くの薬を処方されており、なかなか減らない」等、様々な声が寄せられました。

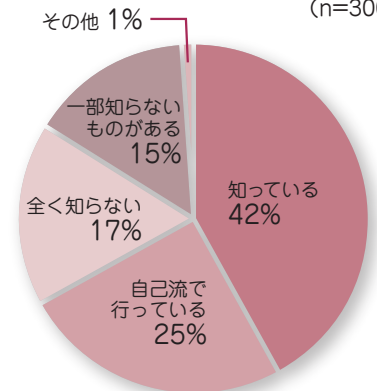
Q. 食事を抜いた時の薬の飲み方

(n=300)



Q. 薬を飲み忘れた時の対処

(n=300)



●コメンテーター●

鈴木吉彦 (日本医科大学客員教授、HDCアトラスクリニック院長)

メトグルコが食後投与、αグルコシダーゼ阻害剤は食直前、スタチンは夕方か夜、SU剤は朝と夕方、持続型インスリンは就寝前か朝、シタグリブチンは1日1回どこでもOK。エクアは朝と夕方、バイエッタは食直前から60分前まで、ビデユリオンは週に1回というような服薬を教えられる医師や薬剤師がどのくらいいるのだろう。かつ後発品も出ているので現場はカオス状態。患者さんの「メトグルコが余ってます」は日常茶飯事の会話です。今後、SGLT2阻害剤が6種類以上発売されると、治療薬の名称は専門家でも覚えられない閾値を超えてしまうだろう。